



令和5年12月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

静岡県青年・女性漁業者交流大会 南伊豆支所青年部が全国大会へ

11月8日に静岡県青年・女性漁業者交流大会が開催されました。この会は、県内の漁業関係者が日ごろの取組成果を発表する場です。

今年度は伊豆漁業協同組合南伊豆支所青年部が「水産教室を通してつながる南伊豆青年部」と題して発表しました。

本発表は、平成8年の同青年部結成当初からの取組です。長年、試行錯誤を繰り返している様子を報告してくれました。



発表会場（伊豆分場会議室）と審査会場（焼津市）等をWebでつないで開催

審査の結果、同青年部には県知事賞と県漁連会長賞が授与され、3月6～7日に開催される全国大会に推薦されることとなりました。

全国大会では、全国各地の漁業者が参加し、取組成果を発表します。当场も南伊豆青年部を引き続き支援していきます。



↑南伊豆町 岡部町長への報告時
(左:発表者の平山さん、中央:岡部町長、右:部長の佐野さん)

漁業士と行政との意見交換会

10月30日に東部地区の漁業士と行政との意見交換会が開催されました。漁業士とは県知事に認定された地域の中核的な漁業者です。

今回は、各地の漁模様を中心に「海業」（うみぎょう）やデジタル化についてなど、幅広く話題が展開されました。

環境変動により獲れる魚種が変わってきており、今後どう対応していくのかが重要になります。そのための有用なツールとして、「海業」やデジタル化をうまく活用できればと思います。



↑東部地区漁業士が一同に会した



漁業士と行政との対話↑

水産・海洋研究発表会の開催

11月22日、当研究所の成果を広く県民に知っていただくための発表会を開催しました。今年度も本所会議室（焼津市）での対面発表とWeb聴講を併用したハイブリッド方式で開催し、当日は計51名（会場17名、Web34名）の参加者がありました。

伊豆分場からは角田研究員が「伊豆地域の磯焼けと漁港内に生育する海藻の不思議」というタイトルで発表しました。

近年、伊豆地域の海藻群落が著しく衰退している現状を踏まえ、発表では、漁港内で海藻の生育が維持されている場所を発見し、その理由を明らかにするために行った環境調査について紹介しました。



↑会場では活発な質疑応答がありました

12月の予定 ●県漁業士会役員会（1日 県庁） ●漁業士認定委員会（4日 県庁） ●キンメダイ水産庁説明会（8日 東京） ●太平洋いわし類、マアジ、さば類長期漁海況予報会議（20～21日） ●漁業士デジタル研鑽会（22日 焼津市） ●潜水調査（カジメ磯焼け調査：白浜、田牛）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。